



太陽と月のカレンダー

※日の出・日の入りは八王子での時刻です。

月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
1 04:26 18:55	2 04:26 18:56	3 04:26 18:56	4 04:25 18:57	5 04:25 18:57	6 04:25 18:58 芒種	7 04:25 18:59
8 ・日の入り後の西の空で金星と木星が接近 下弦 04:24 18:59	9 ・日の入り後の西の空で金星と木星が接近 04:24 19:00	10 ・日の入り後の西の空で金星と木星が接近 ・月と土星が接近 04:24 19:00	11 入梅 ・夜明け前の東の空で月と土星が接近 04:24 19:01	12 04:24 19:01	13 ・夜明け前、東の空で月と火星が接近 04:24 19:01	14 04:24 19:02 星空さんぽ
15 04:24 19:02	16 ☆水星が東方最大離角(日の入り後、西の低空で細い月と接近) 04:24 19:03	17 ・日の入り後の西の空で月と木星、金星が接近 04:24 19:03	18 ・日の入り後の西の空で月と金星が接近 04:24 19:03	19 04:25 19:03 トワイライト	20 04:25 19:04	21 04:25 19:04 夏至
22 上弦 04:25 19:04	23 04:25 19:04	24 04:26 19:04	25 04:26 19:05	26 04:26 19:05	27 04:27 19:05 星空コンサート	28 04:27 19:05 全編生解説
29 04:27 19:05	30 満月 04:28 19:05	<p>☆水星が東方最大離角(とうほうさいだりかく) 地球から見て、水星が太陽の東側に最も離れて見えるとき。 5月31日から6月23日までの間、日の入り30分後の高度が10度を超える。 夕方の西の低空で観察のチャンス。特に20日から24日頃は木星と近いので、木星を目印に見つけやすい。</p>			日付 ▼情報 暦(こよみ) 天文現象 イベント	月の形 日の出 日の入 二十四節気

二十四節気

月の満ち欠けをカレンダーに使っていた旧暦(太陰暦)の頃から使われてきた季節の節目を表したもの。太陽の動きから1年を24等分している。

芒種(ぼうしゅ)・・・稲や麦など芒(のぎ)のある穀物を植える。
夏至(げし)・・・昼の長さが最も長くなる。

プラネタリウムイベント情報!
※詳しくはホームページ等でご確認ください。

夏の星空さんぽ
14(日) 15:50~16:40
見ごろの星や星座、天文現象などをたっぷりとお話します。

トワイライトプラネタリウム
20(土) 18:00~18:50
「Memories ほしにむすばれて」(前半は今夜の星空解説)

星空コンサート
27(土) 18:30~19:30
「星空と共に楽しむ♪音楽のたからばこ」出演：洗足学園音楽大学 近藤ゼミの皆さん

全編生解説プラネタリウム
28(日) 15:50~16:40
テーマ「8で巡る∞(ムゲン)の宇宙」(前半は今夜の星空解説)

6月10日は、時の記念日



時の記念日は、「時間の大切さを国民に広く知ってもらおう」という目的で1920年に制定されました。
日本最古の歴史書「日本書紀」の中に、西暦671年(飛鳥時代のころ)の6月10日、中大兄皇子(後の天智天皇)が日本で初めて水時計(漏刻)を設置し、鐘を鳴らして国民に時刻を知らせた日とあり、その日を「時の記念日」に決めました。



水を入れる、水の高さを見る、時を知らせる鐘を鳴らす役割の人々がありました。

「漏刻」とは、いくつかの箱を階段状に並べ、それらを管でつないで、水を送り、水の高さの変化から時の経過を測ることができる水時計の一種です。平安時代の末期ごろまで使われていました。

水時計は紀元前16世紀ごろにはすでに存在していて、昔から人々は水を使って時間を測っていました。

どうして時計は12時から始まるの？

時計の始まりは紀元前3,000~4,000年ごろのエジプトです。そして、数字の「0」が発見されたのは、それより後の8世紀ごろのインドです。時計の誕生のほうが「0」の発見よりも早かったこと、昔のエジプト人が時間を12に分けて考えていたことなどから、12時から始まっています。



エジプトの時の神トート

★かんたん星座早見★ 6月

(月は描いてありません)



おとめ座



- ★ 1等星
- 2等星
- 3等星
- ☆ 惑星

6月1日午後9時00分頃 6月15日午後8時00分頃 6月30日午後7時00分頃

星座早見は
方角を合わせて
空にかざして
使うよ。

